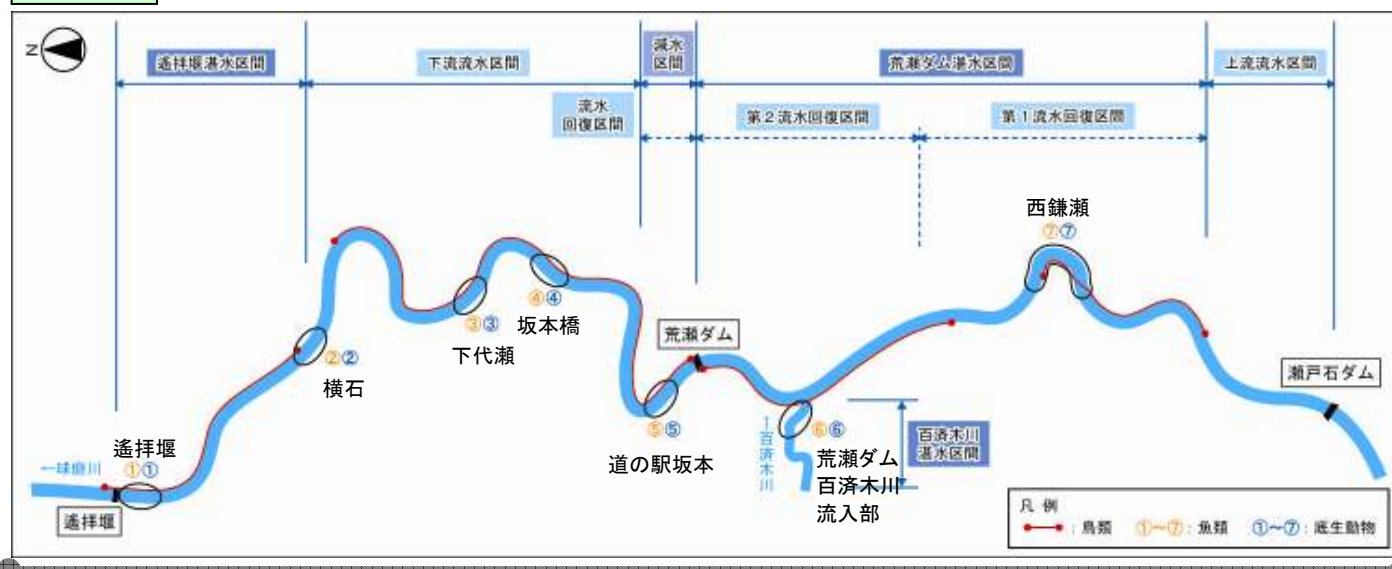


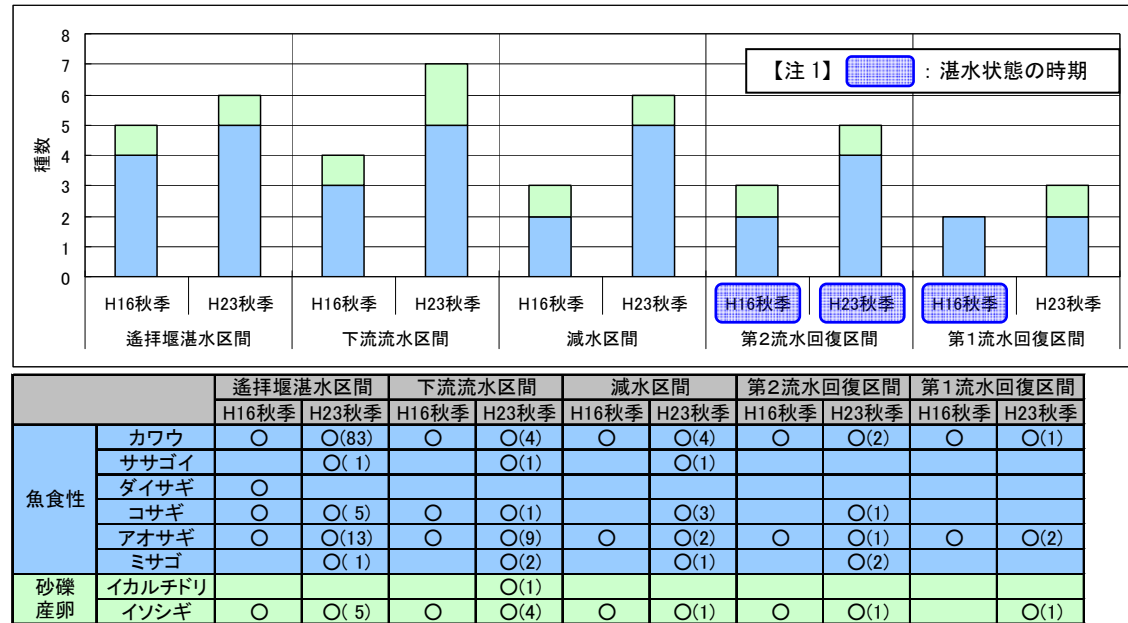
(4) 動物

項 目	調査の実施状況	調査の中間結果（概要）
鳥類	【計画】春季、初夏季、秋季、冬季に全区間で計画 【実績】秋季は10月に実施済み 【今後】冬季は1月、春季は5月、初夏季は6月に予定	魚食性の鳥類の種数は、H16 と比べて、第1 流水回復区間を除き増加していた(サゴイ、コサギやミサゴ)。また、砂礫地で産卵する鳥類の種数は、H16 とほぼ同じである。
魚類	【計画】春季、夏季、秋季に7 地点で計画 【実績】夏季は8 月、秋季は10 月に7 地点で実施済み 【今後】春季は5 月に予定	回遊魚については、荒瀬ダム百済木川流入部において、H16 は確認されていなかったトウヨシノボリ等を新たに確認した。
底生動物	【計画】春季、冬季に7 地点で計画 【実績】未実施 【今後】冬季は1 月下旬、春季は5 月に予定	—
底生動物[重要な種]	【計画】初夏季に移植地及び移植元地で計画 【実績】実施済み 【今後】—	ウスイロオカチグサ：移植地（百済木川）で50 個体程度、移植元地（百済木川・荒瀬ダム）で計80 個体程度を確認。 モノアラガイ：移植地（坂本地区左岸ワンド・荒瀬ダム上流右岸・百済木川）で10 個体程度を確認。

調査地点

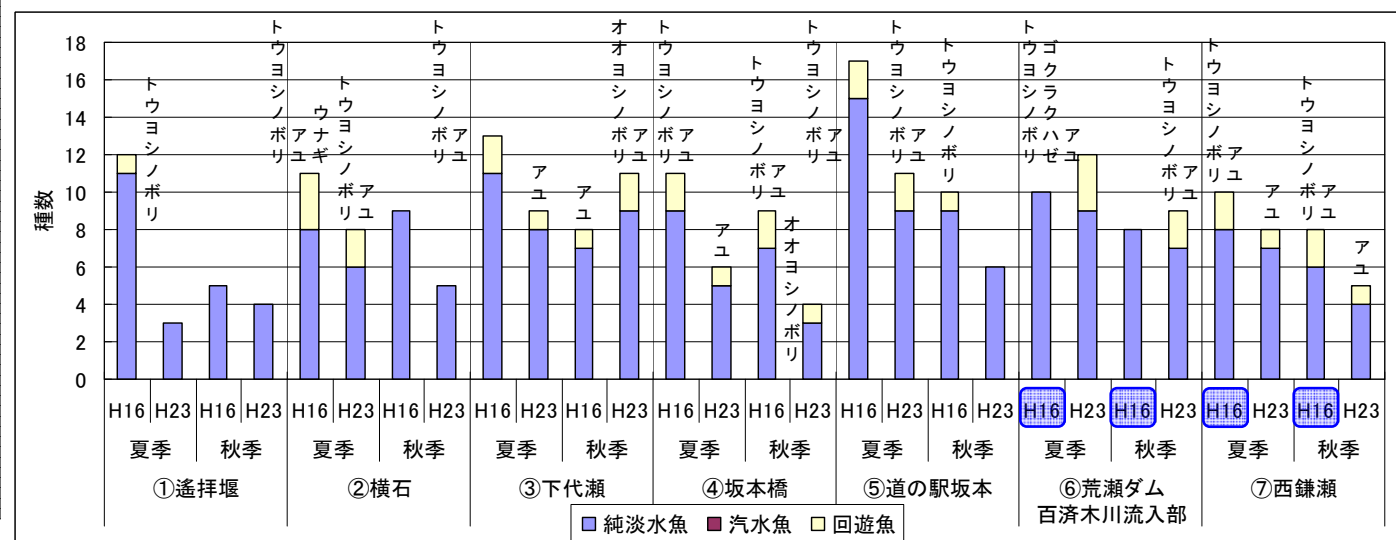


鳥類の中間結果（概要）



【注1】H16は個体数データなし

魚類の中間結果（概要）



【注1】H16 の⑦西鎌瀬の調査地点は、H23 とは異なり、H23 の直上流に存在する
【注2】：湛水状態の時期

回遊魚の個体数(H23)

種数		①遙拝堰	②横石	③下代瀬	④坂本橋	⑤道の駅坂本	⑥荒瀬ダム 百済木川流入部	⑦西鎌瀬
アユ	夏季	0	1	4	1	1	16	1
	秋季	0	0	1	0	0	20	5
ゴクラクハゼ	夏季	0	0	0	0	0	1	0
	秋季	0	0	0	0	0	0	0
オオヨシノボリ	夏季	0	0	0	0	0	0	0
	秋季	0	0	4	3	0	0	0
トウヨシノボリ	夏季	0	3	0	0	2	5	0
	秋季	0	0	0	0	0	6	0